

第10回日本微生物学連盟フォーラム

微生物は 地球の救世主に なれるか？

司会 岡部 聡 (北海道大学大学院工学研究院環境工学部門 教授)

2023年、世界の人口は80億人を突破しました。今日われわれは、地球温暖化に伴う気候変動や人口増加に伴うエネルギー危機、食料問題など、地球の存続を脅かす喫緊の課題に直面しています。本フォーラムでは、小さな目に見えない微生物の力を借りて、これら地球環境問題の解決に向けて挑戦しているユニークな研究を紹介します。また講演会と並行して、(微)生物の観察展示イベントも行います。“微生物は地球の救世主となれるか？”皆様と一緒に考えたいと思います。

日時：2024年2月10日(土)
13:00~16:00

会場：東京大学山上会館(要申込、お申込み先着100名)
および Zoomウェビナー配信

主催：日本微生物学連盟

後援：日本微生物生態学会、日本生物工学会、日本農芸化学会、
東京大学微生物科学イノベーション連携研究機構

開会挨拶

大西 康夫(東京大学微生物科学イノベーション連携研究機構長)

「サステナブルバイオテクノロジー」

渡邊 一哉(東京薬科大学生命科学部 応用生命科学科生命エネルギー工学研究室 教授)

「ビーチロックに学ぶ微生物を用いた海岸保全技術」

川崎 了(北海道大学大学院工学研究院環境循環システム部門 教授)

「土と微生物で生態系を再構築する」

藤井 一至(森林研究・整備機構森林総合研究所 主任研究員)

「微生物による温室効果ガスの削減と市民科学」

南澤 究(東北大学大学院生命科学研究科 特任教授)

「何でも質問コーナー」

閉会挨拶

長田 裕之(日本微生物学連盟理事長、静岡県立大学薬学部薬学科(生薬学分野) 特任教授)

お問合せ先

日本微生物学連盟事務局
fmsj-office@umin.ac.jp

参加申込および詳細は以下のURLをご参照下さい(参加費無料)
<http://fmsj.umin.jp/news2312.html>

